

【美容センサス2015年下期】から読み解く兆し 10代～60代男女の美容意識と行動、結果発表！

美容センサス上期・・・男女の美容サロンの利用（利用率・利用頻度・利用単価など）に関する経年調査
美容センサス下期・・・男女の美容意識と美容行動全体（サロンおよび代替環境を含む）経年調査（本年より経年調査開始）

兆し①

～美容サロンに満足している女性は、約7～8割～

美容サロンに求めるものは「場としての体験価値」

昨今、美容家電の進化や、ドラッグストア・ネット通販などで気軽に購入できる美容グッズも増え、盛り上がる美容市場。「セルフケア」の利用者の満足の理由は「手間がかからない」「好きな時間にできる」など、自宅ならではの手軽さ・敷居の低さにあるようだ。

一方でサロンの利用率は、ここ数年減少傾向にあったものの、やや上昇（2015年6月弊社調査より）。美容サロンを利用している女性のうち、約7～8割が満足しているという結果に。「気分転換になる」「リラックスできる」「相談できる」などが満足のポイントとして上がり、まさに「場」としての体験価値を評価しているようだ。

■美容サロン■

▶ポジティブイメージ

「気分転換になる」「相談できる」「リラックスできる」が上位スコア。場としての価値（雰囲気・空間）や、対面のカウンセリング等による価値を重視する人が多い傾向に。

▶ネガティブイメージ

「費用が高い」がどの美容ジャンルでも高い結果に。「気をつかう」も5位以内に入っている。

■自宅ケア■

▶ポジティブイメージ

「好きな時間にできる」「手間がかからない」が上位に。自宅ならではの、手軽さ・敷居の低さにポイントが集中。

▶ネガティブイメージ

自宅のお手入れでは「面倒」が群を抜いて高い。

兆し②

～自分の“見た目”を相談したい相手、1位は・・・～

男女とも「美容サロンのスタッフ」が1位

男女とも自分の“見た目”に関して「【理想】本来相談したい相手」の1位は「美容サロンのスタッフ」！医師や化粧品の販売員・美容部員を上回る結果となった。美容サロンの中で過ごす時間は平均的には1～2時間程度（弊社調査）のため、施術中の会話も親密になり、継続的に通う場所であることから、信頼関係が構築されているのであろう。

ただし、「【現状】相談する相手」とのギャップは、特に女性は10代～30代、男性は10代～20代で大きい。「本当は相談したい」けれど、「実際はできていない」という状況のようだ。特に若年層は「不満が少ない」「ニーズが顕在化しにくい」と言われているが、もっと美容サロンのスタッフからの提案は欲しているのかもしれない。

■女性■

■相談相手の【理想】と【現実】：「美容サロンのスタッフ」<<年代別データ>> (%)

	美容サロンのスタッフ（ヘアサロン、エステサロン、リラクゼーションサロンなど）	【理想】	【現状】	【理想】と【現状】の差
		本来相談したい相手	相談する相手	本来相談したい相手 相談する相手
女性全体 (n=6600)		28.8	17.5	11.3
女性15～19歳 (n=600)		42.2	14.2	28.0
女性20代 (n=1200)		39.3	23.4	15.9
女性30代 (n=1200)		33.2	19.8	13.4
女性40代 (n=1200)		23.8	16.9	6.9
女性50代 (n=1200)		22.3	15.8	6.5
女性60代 (n=1200)		18.6	13.3	5.3

■男性■

■相談相手の【理想】と【現実】：「美容サロンのスタッフ」<<年代別データ>> (%)

	美容サロンのスタッフ（ヘアサロン、エステサロン、リラクゼーションサロンなど）	【理想】	【現状】	【理想】と【現状】の差
		本来相談したい相手	相談する相手	本来相談したい相手 相談する相手
男性全体 (n=1100)		12.6	4.8	7.8
男性15～19歳 (n=100)		17.0	5.0	12.0
男性20代 (n=200)		20.0	7.5	12.5
男性30代 (n=200)		16.5	8.0	8.5
男性40代 (n=200)		13.5	4.5	9.0
男性50代 (n=200)		5.5	2.0	3.5
男性60代 (n=200)		5.5	2.0	3.5

兆し③

～気になるのは、妻の目線よりも・・・～

30代、40代、50代男性、“見た目”は職場の女性をもっとも意識

男性が“見た目”に関して意識する相手は、10代、20代、60代は「異性の友人」がもっとも高く、30代、40代、50代は「職場・学校の異性」に。女性は男性に比べ、口臭・体臭など男性の身だしなみに対して「とても不快」と感じる意識が男性の約2倍程度高い（下記、弊社2014年10月調査より）。このため職場では、男性は女性をとっても意識しているようだ。職場に女性が増え、部下にも上司にも女性という全方位時代も迫る中、職場での「生き残り」を掛けた男性の美活は加熱して行く・・・！？

■自分の“見た目”に関して意識する相手 <<年代別>> (全体/複数回答) (%)

	男性 年代別					
	15～19歳 (n= 100)	20代 (n= 200)	30代 (n= 200)	40代 (n= 200)	50代 (n= 200)	60代 (n= 200)
同性の友人	32.0	22.0	24.0	15.5	13.5	13.0
職場・学校の同性	34.0	30.5	30.0	23.5	20.5	9.0
配偶者	2.0	3.5	16.0	13.5	16.5	18.0
家族（娘や親など）	7.0	9.0	13.0	10.0	14.0	13.0
異性の友人	44.0	36.5	28.0	24.5	21.0	20.0
職場・学校の異性	40.0	33.0	37.0	29.5	25.5	11.0
恋人	16.0	16.0	10.5	12.0	8.0	5.0
その他	1.0	3.0	0.5	3.5	1.5	1.5
気にする人はいない	30.0	39.0	39.5	39.5	42.5	50.5

※各年代において 1位 2～3位 4～5位

女性では同様の質問では、「同性の友人」が全年代1位を占める結果に。男女間での他者目線の差が明らかに。

(参考) 職場の男性の身だしなみで、「とても不快」と思うポイントは？ (2014年10月) 調査

	女性 n=600	男性 n=568	男女の スコア差
食後やタバコなど口臭がする時に、 ケアをしていない	91.3%	43.3%	2.1
汗や体臭がするの、 ケアをしていない	91.0%	52.5%	1.7
肩にフケが落ちている	89.5%	47.2%	1.9
頭が臭うのに、ケアをしていない	89.3%	48.4%	1.8
足が臭うのに、ケアをしていない	87.7%	40.8%	2.1
髪がべたついている	86.3%	36.1%	2.4
香水の匂いがきつい	84.7%	36.6%	2.3
鼻毛が出ている	84.0%	30.6%	2.7
爪が汚い	82.5%	29.2%	2.8
耳毛が出ている	77.2%	24.6%	3.1

20～49歳の男女・就業者

(自営・フリーランス・パート・アルバイトを除く)

～美容センサスとは～

▶ 調査概要

- ▶ 1年に2回（5月・11月）リリースされる、ホットペッパービューティーアカデミーの基幹調査。今回より上期と下期の設問内容を変更。下期では美容意識やサロンの代替となる美容（自宅・ヘルスなど）も調査聴取する。
- ▶ 2010年下期より始まり、今回第11回目。
- ▶ 2012年より(1)上期は男女20～64歳、(2)下期は女性のみ20～49歳が対象。
- ▶ 今回より、男女15～69歳を対象とする。

▶ 調査目的

- ▶ 男女の美容意識を把握し、美容の利用動向に対する定期観測を行う。

▶ 調査方法

- ▶ インターネットによるアンケート調査

▶ 調査対象・調査エリア

- ▶ 全国、人口20万人以上の都市在住の16～69歳の男女サンプル
(女性6,600サンプル、男性1,100サンプル)

▶ 調査時期

- ▶ 2015年8月8日（火）～8月24日（月）

▶ リリースの目的

- ▶ 基幹調査として専門性の高さをアピールし、業界内におけるホットペッパービューティーアカデミーのプレゼンスを高める。